

NIKOLAI
ASTRUP

ニコライ・アストルツプ

北
欧・ノルウェーの自然と暮らし。
GARDEN OF GROWTH
創造する庭



11/21 Sat.
2026
休館日 = 月曜日 (ただし、11/23、11/11、1/25は閉館)、
11/24 (祝)、年末年始 (12/28 ~
1/2、1/12 (祝))
2027
1/31 Sun.

開館時間 = 10:00-18:00 (金曜日-20:00、*入館は閉館30分前まで)
主催 = 東京ステーションギャラリー (公益財団法人東日本鉄道文化財団)、産経新聞社
特別協力 = DNB 貯蓄銀行財団 | 企画協力 = コーデ・ベルゲン美術館
後援 = ノルウェー大使館
協賛 = T&D 保険グループ、DNP 大日本印刷、湖山医療福祉グループ 銀座医院
制作協力 = S2

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



NIKOLAI ASTRUP ニコライ・アストルップ

私はおそろく、
この国で最も
大地に根ざした
画家の一人である。

—ニコライ・アストルップ、1908年



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

①

JR 東京駅 丸の内北口 改札前

tel.03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

▲丸の内
皇居方面

JR 東京駅
丸の内北口
ドーム

東京ステーション
ギャラリー

自由
通路

▼八重洲方面

入館料	一般	1,800 (1,600) 円
	高校・大学生	1,300 (1,100) 円
	中学生以下	無料

※障がい者手帳等持参の方は、一般 1,300 (1,100) 円、高校・大学生 1,100 (900) 円 [ともに介添者1名は無料] ※ () 内は前売料金 [10/15~11/20、オンラインチケットで販売]
※当日券は当館1階でも販売 ※前売券・当日券はオンラインチケット www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ で販売
※都合により開催内容が変更になる場合があります
※最新情報や関連イベント、シンポジウムの参加申込方法は当館ウェブサイトで随時ご案内します

次展 生誕140年記念 染織家 山鹿清華

—宙潮ぶイマジネーション

2027年2月20日 [土] → 4月11日 [日]



②



③



④

20世紀初頭のノルウェーで最も傑出した画家の一人として、近年、世界的に評価が高まっているニコライ・アストルップ (Nikolai Astrup/1880-1928) の日本初回顧展を開催します。

険しい山々に囲まれた西ノルウェーの湖畔の村、ヨルステル (現・スンフィヨルド) で育ったアストルップは、生涯にわたってこの地を拠点とし、天候や季節ごとに変化する自然と人々の暮らしを描きました。白夜の空に炎が燃え上がる幻想的な夏至祭、工芸品が彩る室内の情景、自ら育てた果樹やルバーブなどの植物——。とりわけ、食糧を生み出す生活の場であり、芸術的な関心に向けた創造の場でもある“庭”は、彼の芸術を体現するモチーフとなりました。

アストルップの絵画の魅力は、類稀な色彩感覚に支えられた独自の象徴性にあります。

常に現実世界を描きながらも、鮮烈な色彩と大胆なデフォルメを用いて、日常の光景を、観る者の記憶や感覚を呼び起こす象徴的な画面へと昇華させたのです。また、アストルップはきわめて独創的な版画家でもありました。日本の浮世絵版画に影響を受けつつも、油彩と木版を組み合わせた類例のない手法で制作された彼の木版画は、すべてが一点ものと呼べる多様性を有しています。

本展では、油彩画に加え、独自の境地を拓いた木版画、再評価が進むテキスタイルデザインの仕事も紹介し、画業の全貌に迫ります。代表作を一堂に集めた展示空間で、北欧・ノルウェーの自然と暮らしを詩情豊かに描いたアストルップの芸術世界をご堪能ください。



⑤

表《ルバーブ》(部分) 1911-21年 | 油彩、カンヴァス | DNB 貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ①ニコライ・アストルップ | 1920年頃 (ペール・クラメル撮影、個人蔵) ②《ジギタリス》1920年頃 | 油彩・木版、カンヴァス | DNB 貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ③《夏至の祭火》1915年 | 油彩、カンヴァス | DNB 貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ④《大きな青い壺のある室内》1921-22年 | 油彩、カンヴァス | 個人蔵 ⑤《3月の朝》1920年 | 油彩・木版、カンヴァス | DNB 貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館

【開幕記念シンポジウム】本展監修者のスサンナ・ペッテルソン氏 (フィンランド文化財団理事長)、トーズ・ハウグスボー氏 (コーデ・ベルゲン美術館シニア・キュレーター)、そして日本の巡回館担当学芸員を迎え、このたび日本で初めて本格的に紹介されるアストルップの芸術を多角的な視点から掘り下げます。

日時——2026年11月21日 [土] 14:00~17:30 参加費——無料 定員——150名 (事前申込制)

会場——JPタワー ホール & カンファレンス (東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 4階)

ムンクだけじゃない
ノルウェーを代表する
もう一人の巨匠、日本初回顧展。

画家であり、園芸家
アストルップ芸術の核となった
“庭”を散策するような鑑賞体験。

木版と油彩のクロスオーバー
ジャンルを越境する異色の作品群を、
版木とともに一堂に展示。

芸術と育ち、暮らす
母親と協働したテキスタイルの
仕事に光を当てる。

THE GARDEN OF
創造する庭
GROWTH

NIKOLAI
ASTRUP

ニコライ・アストルツプ

北欧・ノルウェーの自然と暮らし。
創造する庭



11/21 Sat.
11/24 Sun.
11/25 Sun.
11/26 Mon.
11/27 Tue.
11/28 Wed.
11/29 Thu.
11/30 Fri.
12/1 Sat.
12/2 Sun.
12/3 Mon.
12/4 Tue.
12/5 Wed.
12/6 Thu.
12/7 Fri.
12/8 Sat.
12/9 Sun.
12/10 Mon.
12/11 Tue.
12/12 Wed.
12/13 Thu.
12/14 Fri.
12/15 Sat.
12/16 Sun.
12/17 Mon.
12/18 Tue.
12/19 Wed.
12/20 Thu.
12/21 Fri.
12/22 Sat.
12/23 Sun.
12/24 Mon.
12/25 Tue.
12/26 Wed.
12/27 Thu.
12/28 Fri.
12/29 Sat.
12/30 Sun.
12/31 Mon.

開館時間=10:00-18:00(金曜日-20:00、*入館は閉館30分前まで)
主催=東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化財団)、産経新聞社
特別協力=DNB貯蓄銀行財団 | 企画協力=コーデ・ベルゲン美術館
後援=ノルウェー大使館
協賛=T&D保険グループ、DNP大日本印刷、湖山医療福祉グループ銀座医院
制作協力=S2

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



ムンクだけじゃない
ノルウェーを代表する
もう一人の巨匠、日本初回顧展。

庭を散策するような鑑賞体験。
「庭」を散策するような鑑賞体験。

木版と油彩のクロスオーバー
ジャンルを越境する異色の作品群を、
木版とともに一堂に展示。

芸術と育ち、暮らす
母親と協働したテキスタイルの
仕事に光を当てる。

THE GARDEN OF
創造する庭
GROWTH

20世紀初頭のノルウェーで最も傑出した画家の一人として、近年、世界的に評価が高まっているニコライ・アストルップ (Nikolai Astrup/1880-1928) の日本初回顧展を開催します。

険しい山々に囲まれた西ノルウェーの湖畔の村、ヨルステル (現・スンフィヨルド) で育ったアストルップは、生涯にわたってこの地を拠点とし、天候や季節ごとに変化する自然と人々の暮らしを描きました。白夜の空に炎が燃え上がる幻想的な夏至祭、工芸品が彩る室内の情景、自ら育てた果樹やルバーブなどの植物——。とりわけ、食糧を生み出す生活の場であり、芸術的な関心に向けた創造の場でもある「庭」は、彼の芸術を体現するモチーフとなりました。

アストルップの絵画の魅力は、類稀な色彩感覚に支えられた独自の象徴性にあります。常に現実世界を描きながらも、鮮烈な色彩と大胆なデフォルメを用いて、日常の光景を、観る者の記憶や感覚を呼び起こす象徴的な画面へと昇華させたのです。また、アストルップはきわめて独創的な版画家でもありました。日本の浮世絵版画に影響を受けつつも、油彩と木版を組み合わせる類例のない手法で制作された彼の木版画は、すべてが一点ものと呼べる多様性を有しています。

本展では、油彩画に加え、独自の境地を拓いた木版画、再評価が進むテキスタイルデザインの仕事も紹介し、画業の全貌に迫ります。代表作を一堂に集めた展示空間で、北欧・ノルウェーの自然と暮らしを詩情豊かに描いたアストルップの芸術世界をご堪能ください。



表《3月の朝》1920年|油彩・木版、カンヴァス|DNB貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ①ニコライ・アストルップ|1920年頃(ペール・クラメル撮影、個人蔵) ②《ルバーブ》1911-21年|油彩、カンヴァス|DNB貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ③《リュウキンカの夜》1915-27年の間|多色摺木版、紙|DNB貯蓄銀行財団/コーデ・ベルゲン美術館 ④《山》1905-06年|油彩、カンヴァス|コーデ・ベルゲン美術館

【開幕記念シンポジウム】本展監修者のスザンナ・ペッテルソン氏(フィンランド文化財団理事長)、トーズ・ハウグスボー氏(コーデ・ベルゲン美術館シニア・キュレーター)、そして日本の巡回館担当学芸員を迎え、このたび日本で初めて本格的に紹介されるアストルップの芸術を多角的な視点から掘り下げます。

日時——2026年11月21日[土]14:00~17:30 参加費——無料 定員——150名(事前申込制)
会場——JPタワー ホール&カンファレンス(東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 4階)

NIKOLAI ニコライ・アストルップ

私はおそろく、
この国で最も
大地に根ざした
画家の一人である。

——ニコライ・アストルップ、1908年

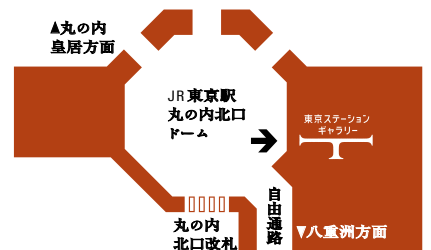


東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

JR 東京駅 丸の内北口 改札前
tel.03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1



入館料	一般	1,800 (1,600) 円
	高校・大学生	1,300 (1,100) 円
	中学生以下	無料

*障がい者手帳等持参の方は、一般 1,300 (1,100) 円、高校・大学生 1,100 (900) 円 [ともに介添者1名は無料] * () 内は前売料金 [10/15~11/20、オンラインチケットで販売]
*当日券は当館1階でも販売 *前売券・当日券はオンラインチケット www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ で販売
*都合により開催内容が変更になる場合があります
*最新情報や関連イベント、シンポジウムの参加申込方法は当館ウェブサイトで随時ご案内します

次回展 生誕140年記念 染織家 山鹿清華
——宙潮ぶイマジネーション
2027年2月20日[土]→4月11日[日]